



エコネット通信

VOL.42



子ども達が作った雪だるま。

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

冬休み1泊2日の森暮らし体験

冬の森つみキャンプ開催！

雪の森へ森探検

1月8日(水)～9日(木)の1泊2日、森のがつこうで初めての小中学生対象の冬のキャンプを開催しました。参加者は遠野市内の小学生6名と中学生3名の9名。スタッフ親子6名と、冬の森で2日間を過ごしました。

1日目は、9時に森のがつこう集合後はじめの会でオリエンテーションをし、早速森に出かける準備。この日は、森でお昼ご飯を食べることにしたので、昼食の食材や鍋などもみんなで分担してリュックに詰め込みます。身支度も整えて、いざ雪のオッホーの森へ出発！

雪の森の中では、深い所は子どもの膝ほど



森探検の途中で記念撮影。まだまだ奥に歩きます。



森探検のラストは、牧草地のソリ滑り！



キャンプの基本は焚き火のご飯づくり。



しめ縄リースづくりも頑張りました！

のところもあり、いつもより歩くのが大変。

この日は、いつもより遠くまで歩くコース。疲れては、何度も休憩しながら森の奥へ。お昼は、森の中で焚き火台を設置して豚汁づくり。落ち枝を拾い火を熾し、焚き火で暖をとりながらお昼を食べました。午後は、森から牧草地へ抜けるコースへ。帰りはソリで一気に滑り降ります。の筈が、転んでしまったりコースから外れたり。それでも、何とか滑り終えて、森の家に戻ってきました。

休憩後は、暗くなる前に夕ご飯づくり。メニューはカレーと羽釜で炊くご飯。外で焚き火をしてつくりまます。食材を切る人、外で焚き木を拾って火を熾す人。うまく分担して、美味しい夕ご飯をいただきました。

星空に感動！

その日の夜は、森の家の中で寝袋で眠ることになりましたが、その前にナイトハイクに出かけることにしました。牧草地を登る途中で、ソリに寝っ転がって星空を観察。「こんな綺麗な星を見たの初めて！」と、感動する子ども達でした。

2日目は、サンドイッチの朝食を食べた後は自由時間。外で雪合戦大会もしました。お昼には、焚き火でひつつみづくり。小麦粉をこねて生地をつくり、具材の入った鍋に入れて行きます。そして午後は、最後のプログラムとして、森のがつこうで収穫したお米の稲ワラを使って、しめ縄リースづくり。初めてワラ細工をする子どももありましたが、みんな上手につくれました。最後に、森の家の周囲にある木の実などを飾りつけて完成。キャンプの思い出として持ち帰りました。次は、春休み期間にも、子ども達とキャンプを予定しています。

森歩きを楽しむ会・冬編 12/14(土)

今年度4回目となる森歩きを楽しむ会は、うっすらと雪が積もった中で、快晴の天気恵まれ、小さな子連れ初の参加の家族も含め10名で開催しました。森のがっこうに集まった参加者は、森の家でオリエンテーション後に、身支度をして外へ。まずは、森の家の周辺を自然観察。その後、オッホーの森へ出かけました。雪の上には、動物達の足痕が見れます。ニホンジカ、リス、テン、キツネなど。また、ニホンジカがドングリを探して掘った跡がいっぱいありました。ドングリ好きなんですね。山の上でお昼を食べた後は、いつもより遠くまで森を歩き、コナラの大木も観察できました。



12月の森歩きを楽しむ会で、冬の森の自然観察。

どんぐりのぼうし 12/21(土)

この日は幼児親子15名が参加。ボスの「どんぐりのぼうし」と「森のがっこう」の歌の後に、自己紹介。そして、森の家の周りで雪遊び。ソリ滑りには良い積雪状況で、何度も滑っては坂を上りを繰り返す子ども達。大人も一緒に楽しめます。その後は、森から杉の葉や落ち枝を拾って来て、焚き火で森のがっこうの田んぼに稔ったお米のご飯づくり。初めてマッチで火おこしに取り組む子もありました。お昼は、みんなで頑張ったつくったご飯と豚汁を、美味しくいただきました。午後は自由時間で、森探検に行く子どもと、森の家でのんびりする子も。森では、動物の足痕や糞などを見つけました。



どんぐりのぼうしで、親子でソリ滑りを楽しみました。

おひさまのねっこ 1/18(土)

この日は小学生と親の参加もあり、10名が参加。子ども達は、外で雪遊び。大人達は、森の家の中で、のんびり過ごしてもらいます。森の家の前には、雪を固めたジャンプ台が3カ所できていて、子ども達は大盛り上がり。その後、お昼ご飯づくりとなり、焚き木を集めて焚き火をして、ご飯とシチューをつくりました。午後は、森探検へ出発。積雪があるので、スノーシューを履いてストックをつきながら雪の森歩きを楽しみました。帰り道は、雪の斜面をお尻で滑る通称「ケツ滑り」も体験。雪の森を思いっきり楽しんで一日でした。



おひさまのねっこで、スノーシューを履いて森歩き。

焚き火夜会 ～冬至の夜のキャンドルナイト～ 12/21(土)

夏至と冬至に合わせて開催している焚き火夜会。この日の参加者は11名。時期的に、外での焚き火は寒くて辛いので、森の家の中で、電気の照明を消して、薪ストーブの炎とキャンドルに火の灯りだけで、夕ご飯を食べながら、語り合ったり歌ったりして、ゆったりとスローな時間を過ごしました。たまには、こんな静かな夜もいいものです。



焚き火夜会では、キャンドルの灯りで語られました。

新年交流会&ナイトハイク 1/11(土)

毎年この時期に開催している遠野エコネットの新年交流会。今年は、森のがっこうを会場として14人が参加しました。料理は、土淵町で農家民宿「大森家」を運営している大森さんが、手づくりのお弁当を作ってくれました。みんなで持ち寄りの飲み物を酌み交わし、楽しい時間となりました。また、外が綺麗に晴れ渡っていたので、希望者はナイトハイクを体験。ルールは、電灯を持たずに、何もしゃべらないで、前の人が見えなくなるくらいの間を空けて歩くこと。次第に闇に目がなれ、五感が研ぎ澄まされる感覚を楽しめたようです。



新年交流会では、附馬牛地区への移住者とも交流を。

活動報告 (12月～1月)

炭っこ倶楽部 1/19(日)

この日は暖かな冬晴れの天気で、子どもさん2人連れの家族を含め9名が参加。準備体操をした後に、前回焼いた木炭を炭窯から出します。炭窯の中に初めて入った子ども達は、その不思議な空間に興奮しまくり。大人に混ざって、一緒に炭を出し、出した炭をノコギリで切り、午後には炭窯への炭材立ても手伝ってくれました。こうやって炭ができるということを忘れないでいて欲しいものです



1月の炭っこ倶楽部は子ども連れの家族も参加しました。

山仕事はじめての一步(入門)講座 12/8(日) 1/12(日)

12月の山仕事講座は、受講者とスタッフ合わせ20名が参加。この日も、NPO法人いわて森林再生研究会より講師3名を派遣いただき、松崎町内の実習林にて、間伐した材を搬出する集材の実習しました。トビや木材トング、ロープの使い方を習い、実際に玉切りした丸太を集めます。しかし、丸太は想像以上に重いもの。丸太に、少しでも枝の切り残しがあると、地面を引きずる時に摩擦が増えて、苦勞することに。集材の後は、お昼にスタッフが用意した豚汁が振る舞われました。また、1月の講座は、土淵地区センターの和室にての安全講習。受講者とスタッフ合わせて15名が参加し、間伐する際の安全についてテキストでじっくり講習。午後は、3班に分かれ、危険予知トレーニングのワークショップを行いました。



12月の山仕事講座で、トビを使った集材を実習しました。

薪づくり倶楽部&森の笠地藏プロジェクト 12/1(日) 1/5(日)

12月の薪づくりは、好天の下で21名が参加。森の笠地藏プロジェクトとして、午前中は綾織町の高齢者宅2軒に、軽トラック4台で薪を配達。午後には、小友町の高齢者宅に軽トラック2台で薪を配達しました。1月の薪づくりは、14名が参加。この日は、年末年始に降り積もった雪の除雪作業からスタート。お正月休み明けで、みんな体がなまっていましたが、薪割りはじめると汗が出るほど暖まりました。やはり、冬こそ薪割りシーズンを実感です。



1月の薪づくりは、雪の上での薪割りでした。

間伐倶楽部 12/28(土) 1/25(土)

12月の間伐倶楽部は4名が参加。松崎町の実習林にて間伐・造材という一連の作業を行いました。この日は、山仕事講座の受講生も参加し、欠席した回の補講も兼ねて参加しました。1月の間伐倶楽部には8名が参加。この日は松崎町の実習林にて、これまで間伐した材を、ポータブルウィンチを使っての集材に取り組みました。このウィンチは、持ち運び可能なため、山の奥の場合は、ロープが届く所まで一度木材を集め、ある程度貯まったら、道路のある場所にウィンチを移動して、次は道路まで集材できます。みんなで、薪にする丸太を道路まで集めることができました。



1月の間伐倶楽部にて、ポータブルウィンチを使って集材。

森業倶楽部 12/22(日) 1/26(日)

12月の森業倶楽部は12名が参加し、上郷町の菊池光典氏(木暮工房)を講師に、間伐材を使った木工づくりを行いました。またこの日は、薪の駅のピザ窯でピザを焼き、一足早いクリスマスをお祝いしました。1月の森業倶楽部は10名が参加し、木工に取り組みました。



12月の森業倶楽部では、お昼にピザを焼いていただきました。

主な活動の予定（2月～3月）

月日	タイトル	内容	活動場所
2/2(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
2/7(金)	教育を創る市民フォーラム(代表千葉)	今後の小学校について	総合福祉センター
2/8(土)	ウタリの会	薪割り体験他	森のがっこう
2/8(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	遠野エコネットの活動紹介	IBCラジオ(8時35分頃)
2/9(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	チェーンソー目立て他	松崎地区センター
2/12(水)	ムーンライトハイキング	満月の下でナイトウォーク	森のがっこう
2/15(土)	どんぐりのぼうし	幼児親子対象森暮らし体験	森のがっこう
2/15(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	遠野エコネットの活動紹介	IBCラジオ(8時35分頃)
2/22(土)~24(月)	冬の森キャンプ	中学生以上対象のキャンプ	森のがっこう
2/22(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
2/23(日)	森業倶楽部	間伐材利用の木工	薪の駅
3/1(土)	森歩きを楽しむ会・早春編	早春の森の自然観察	森のがっこう
3/2(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
3/8(土)	おひさまのねっこ	小学生対象森暮らし体験	森のがっこう
3/9(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	実習まとめ/特別講習	松崎実習林他
3/15(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
3/16(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
3/27(木)~28(金)	早春の森っこキャンプ	小中学生対象のキャンプ	森のがっこう

【編集後記】

遠野で一番美しい季節は？間違いなく「それは冬です」と答える。マイナス二桁の最低気温になる朝、日の出と共に一斉に雪面が輝く様は、まるで宝石箱の中に包まれているようだ。川沿いの木々は樹氷となっていて、白く輝く。寒さも吹き飛んでしまう光景だ。

冬の夜も美しい。空気が澄んでいるため、まさに星が降るような夜空である。また、月明かりも眩しいほどで、真っ白い雪がその光を反射して、日中とは一味違う明るさである。

今年も暖冬傾向ではあるものの、遠野の冬の寒さは格別。寒いのは嫌だけれど、見方を変えれば、自然が織りなす貴重な宝でもある。冬は美しい～！（千葉）

発行：NPO法人遠野エコネット

令和7年2月5日発行

岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530

Tel&Fax 0198-64-2250

E-Mail: pahaya@tonotv.com



ウタリの会でソバの実を石臼で製粉しました。

森のがっこうでは、今年初めてソバづくりをしました。これまで田んぼだった一枚を畑にして、8月1日に種まき。その後、10月11日にソバを刈り取り、束ねて地面に立てて乾燥。11月9日(土)のウタリの会で、乾燥させておいたソバを足踏み脱穀機で脱穀。唐箕で軽い実や屑を

森のがっこうのソバづくり

飛ばして選別と、一連のソバ収穫までを無事に終えました。

その後、収穫したソバの実を桶に入れて、森の家のストープの前に置いて、更に乾燥。そして、いよいよソバづくりになります。12月15日(日)のウタリの会で、まずはソバの製粉。石臼を使い、ソバの実を、粉にして行きます。なかなか力があるものです。その後、ふるいにかけて、残ったものを、更に石臼で細かく。この繰り返し。

できた粉で、いよいよソバ打ち。この日は、伸ばしたソバを切るときは打ち粉が足りなかつたらしく、切ったソバがくっついてソバ団子汁になってしまいました。その後、1月11日(土)のウタリの会でリベンジのソバ打ち。ぎりぎり麵状のソバが完成しました！